

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間: 2025年4月1日～2026年3月31日



医王環境株式会社

発行日: 2026年5月31日

目 次

1. 環境経営方針	P1
2. 会社概要	P2
3. 対象範囲	P5
4. 環境管理組織概要	P6
5. 環境経営中期目標と実績	P7
6. 環境経営計画と実施状況及び次年度取組	P8
7. 環境関連法規の遵守	P11
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	P12

1. 環境経営方針

【基本理念】

医王環境株式会社は、環境負荷を低減しつつ適正な産業廃棄物処理を行います。

【環境保全への行動指針】

1. 具体的に次のことに取り組みます。

①電力・燃料を削減し、二酸化炭素排出量を削減します。

②水質管理を徹底します。

③産業廃棄物処理に係る情報公開を行います。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 経営における課題とチャンスを検討しそれらを環境への取組に反映させます。

4. この環境経営方針を従業員に周知し全員参加で取り組みます。

5. 環境への取り組みを環境経営レポートとして取りまとめ公表します。

これらについて環境経営目標・計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

制定日 2012年4月1日

改訂日 2025年6月1日

医王環境 株式会社

代表取締役 森 雄一

2. 会社の概要

1. 事業所名及び代表者名

医王環境株式会社
代表取締役 森 雄一

2. 事業所所在地

《本社》 〒939-1732
富山県南砺市荒木505番地の1
《処分場》グリーンコスモス
〒939-1606
富山県南砺市能美字浦島911

3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

統括責任者	代表取締役 森 雄一
環境管理責任者	専務取締役 森 進吾
連絡先	〒939-1732 富山県南砺市荒木505番地の1 電話番号 0763-52-7770 FAX番号 0763-52-3774 e-mail info@greencosmos.jp HP https://www.greencosmos.jp/

4. 事業内容

産業廃棄物の処分、処分に関する事業

5. 事業の規模

設立年月日	1995年 2月10日
資本金	1,000万円

活動規模	単位	2025年度
廃棄物総受入高	m ³ /年	7,845
残余容量	m ³ /年	400,312
売上高	万円	56,777
従業員数	人	6
延べ床面積	m ²	59.63(旧管理棟)+89.32(新管理棟)=148.95

6. 許可の内容

1. 許可の内容

許可者	種類	積換保管	取得年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器	鋳さい	がれき類
		有無	有効期限																
富山県	最終処分	無	2019年11月6日	01631051320						○					○	○	○		○

事業計画の内容

①全体計画の概要

1995年2月に協同組合医王環境を設立。1997年11月より営業を開始し、2000年11月に医王環境株式会社へ組織名を変更。2024年7月に処分場拡張許可取得、同年8月より従来の約3倍の受入容量となり現在に至る。

②処分する産業廃棄物の種類及び処分量等

	産業廃棄物の種類	処分方法	処分量 (t/月又はm ³ /月)	備考
1	廃プラスチック類	埋立	200m ³ /月	
2	ゴムくず	埋立	100m ³ /月	
3	金属くず	埋立	100m ³ /月	
4	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	埋立	300m ³ /月	
5	がれき類	埋立	300m ³ /月	

2. 施設の状況

処理施設

区分	許可の内容
施設の種類	安定型最終処分場
設置場所	南砺市能美字浦島
設置年月日	1997年 6月25日
処理能力	埋立面積: 45,500㎡
	埋立容量: 570,890㎡
取扱廃棄物の種類	廃プラスチック類(0600)、ゴムくず(1100)、金属くず(1200)、
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(1300)、がれき類(1500)
	(これらのうち自動車等破砕物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物であるものを含み、
	水銀使用製品産業廃棄物であるものを除き、特別管理産業廃棄物であるものを除く)
	(以上5種類)
許可年月日	2024年 7月26日
許可番号	1631051320
処理方法	最終処分 埋立

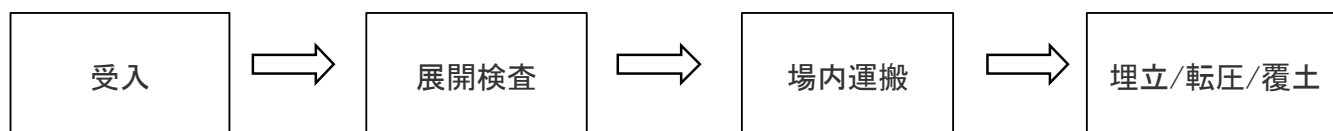
設置設備

施設・器具	数量	備考
トラックスケール	1台	重量計測機
キャパライザー	1台	容量計測機

保有機械

機械・器具名	性能	台数	備考
バックホー	0.7m3	1台	
	0.45m3	1台	2024/6より使用
	0.25m3	1台	2024/9より使用
タイヤショベル	3.0m3	1台	
クローラー	11t級	1台	2024/11より使用

廃棄物処理工程フロー



3・対象範囲

1. 認証登録範囲

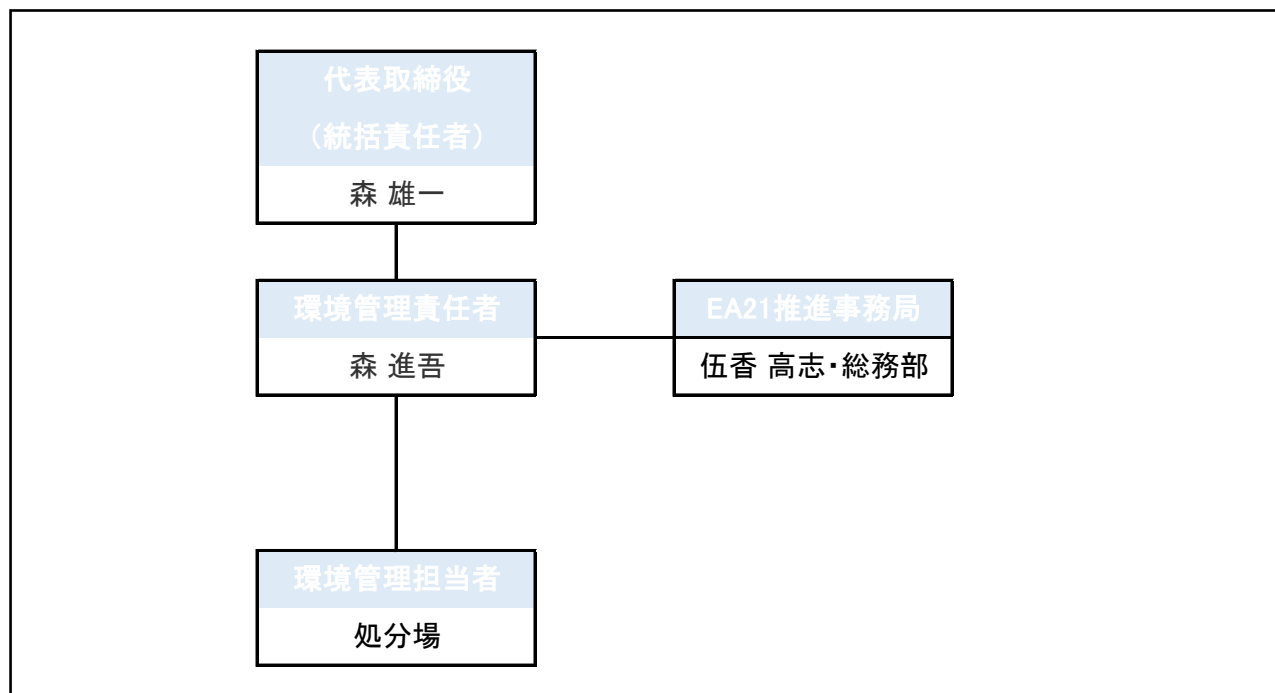
認証・登録事業者	医王環境株式会社
事業活動	産業廃棄物処理業(最終処分)
対象事業所	本社、グリーンコスモス

2. 環境経営レポートの対象期間及び発行日

対象期間	2025年4月1日～2026年3月31日
発行日	2026年5月31日発行

4. 環境管理組織概要

《エコアクション21組織図》



職名	役割・権限・責任
統括責任者 (代表取締役)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営目標の設定を承認 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境経営活動実施計画書を承認 ・環境経営レポートの確認
環境管理担当者	・環境への負荷CS及び環境への取組CSの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境経営目標・環境経営活動実施計画書原案の作成 ・環境経営活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
EA21推進事務局	・メンバーは環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に係わる事項の実務を中心的に行う
従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

5. 環境経営中期目標と実績

1. 環境負荷の過去実績と環境経営目標

	単位	2024年度 基準年度	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
購入電力	kWh	4,559	4,513	4,468	4,424
軽油	ℓ	(8,280)	(8,197)	(8,115)	(8,034)
	ℓ/m ³	3.0	3.0	3.0	3.0
水質管理の徹底		適合	適合	適合	適合
維持管理情報の公開		HP情報公開	HP情報公開	HP情報公開	HP情報公開
受託産業廃棄物処理量	m ³	2,729	—	—	—

※購入電力の二酸化炭素排出係数は0.431kg-CO₂/kWh（北陸電力(株)）

・2025年度の二酸化炭素排出量は46,253Kg-CO₂

・2025年度以降の目標基準は前年度比1%の改善とした。（軽油は原単位とする）

・軽油については受託廃棄物処理1立米あたりに対しての使用量を算出したものを基準とする

※化学物質は使用しておりません

6. 環境経営計画とその実施状況、次年度の取組

2025年度の計画、実績と評価

	単位	2024年度	2025年度		達成率	評価
		基準年度	目標	実績		
購入電力	kWh	2,455	2,430	2,661	91%	×
軽油	ℓ/m ³	3.0	3.0	2.2	136%	○

購入電力量の未達成は、事務所移転に伴う床面積や電気機器の増加に加え、1月～3月にかけての冬期に融雪用ポンプがフル稼働したことが主な要因でした。

軽油使用量は処分場拡張後の地山掘削や高含水土のセメント改良、築堤作業などの高負荷作業が重なり使用量が増えたが、それ以上に受託廃棄物量の増加したため、目標を達成できた。

環境経営計画とその実施状況及び次年度の取組み

	具体的取組内容	評価		担当部署
二酸化炭素排出量の削減	空調の適温化(冷房26℃、暖房23℃)	○	継続	処分場・総務
	照明の適正化(昼光の利用、スイッチの適正管理)	○	継続	処分場
	重機への負荷の軽減	○	継続	処分場
水質管理での環境配慮	水質調査の徹底	○	継続	総務
優良産業処理業の認定	HPで情報公開	○	継続	総務
	電子マニフェストの運用	○	継続	総務
	優良産廃処理業認定制度の調査、理解	○	継続	総務

※ ○ 達成 △ 一部達成 × 未達成

緊急事態訓練の実施

1.火災訓練の実施

- 【開催日】 2025年10月14日(金) 13:00～13:30
- 【場 所】 産業廃棄物処分場場内
- 【参加者】 役員、従業員 計5名
- 【内 容】 重機より火災が発生したことを想定
場内より避難、消火器の使い方訓練



(訓練状況)



(訓練状況)



(消火器設置状況)



(消火器設置状況)

2.重機からの油漏れ訓練の実施

- 【開催日】 2025年10月14日(金) 13:30～14:00
- 【場 所】 産業廃棄物処分場内
- 【参加者】 役員、従業員 計5名
- 【内 容】 重機より油漏れが発生したことを想定
油漏れ箇所に給水マットや中和剤での環境対応
油漏れ緊急対応資材の保管状況の確認



(訓練状況)



(訓練状況)



(保管状況)



(保管状況)

7. 環境関連法規などの遵守

環境関連法規の遵守と違反訴訟等の有無

法規制等の名称	遵守事項	当社の遵守内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理施設に係る定期検査	5年3ヶ月以内に県の検査を受けている	適
	維持管理情報の公開	HP上でも情報公開している	適
	維持管理積立金制度	環境保全機構への積立している	適
	廃棄物処理施設における記録作成	処分にかかわる記録を廃止までの間保管	適
	マニフェストの保存(C1)	交付された日から5年間	適
	産業廃棄物管理票の交付	不交付時における廃棄物の引き受け禁止	適
	産業廃棄物処理委託契約書	契約書(許可証・有効期限チェック)	適
	産業廃棄物処理施設技術管理責任者の設置	設置届済み	適
	廃水銀等は特別管理廃棄物に指定	安定型処分場への受入禁止	適
	廃棄物処理法令の確認	法律の確認	適
富山県産業廃棄物適正処理に関する条例	産業廃棄物処理業(処分の計画)	県外産廃処分計画書の提出	適
	産業廃棄物処理業(承認事業者適正処置)	県外産廃受入実績の報告	適
地元他との協定について	公害防止協定(南砺市(旧福光町))	公害防止協定の締結	適
	環境保全に関する覚書(能美部落)	環境保全に関する覚書	適
	土地賃借契約書(地権者)	契約条項	適

環境関連法規の違反及び苦情等はありませんでした。

なお、関係当局より違反、訴訟等の指摘は過去には一度もありませんでした。

環境関連法規に関しては自らが定期的に遵守状況をチェックしていきます。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、2012年4月よりエコアクション21認証取得を目指し取組を開始しました。
2025年4月から2026年3月までの活動についての評価は下記のとおりです。

今年度は、新たな運用体制への完全移行後、初となるの通年稼働をむかえました。その結果、処分場における掘削・改良・築堤などの高負荷作業の発生や受託量の変動により軽油使用量が増加となりました。

また、新事務所移行に伴う、電気機器の増加や、冬期の融雪用ポンプ稼働が重なった結果、購入電力量についても超過する結果となりました。これら燃料および電力量の増加に伴い、全体として二酸化炭素排出量削減目標を達成することはできませんでした。

目標は達成できなかったものの前年度から続けていた新環境でのデータ収集を完了し、1年間の正確な使用量を把握することができました。今後は新たな実測値を基準とし、次年度より現状に合わせた目標の再設定を行い、取り組みを推進してまいります。

環境関連法規の遵守については今後も法規を遵守し継続的に取り組んでいきます。

2026年5月31日

医王環境株式会社

代表取締役 森 雄一